

決定！ 令和3年度 魅力ある県立学校づくり大賞

県教委では、魅力ある県立学校づくりに優れた成果があり、他の学校の参考となったと認められる学校を毎年顕彰しています。

最優秀賞 千葉女子高等学校



生徒が8～10の班に分かれ、大手食品会社の商品を使ったレシピを6年間で延べ約50品開発しました。生徒の写真が入ったレシピはスーパーマーケット全78店舗の店頭で配布され、千葉県立高校の取り組みを広く発信するとともに、広告チラシを見た友人や家族、地域の方々などからの反響が生徒の達成感と意欲をさらに高めました。

特別賞 東金特別支援学校

地域の方々や小・中学校にパラ・スポーツを広める同校の「オリ・パラ」推進活動は、東京2020パラリンピック閉会式で「ImPOSSIBLEアワード開催国特別賞」(*)を与えられ、千葉県立特別支援学校の取り組みを世界に発信しました。このことは、生徒・教職員に、障害者理解や共生社会推進に取り組む自信と意欲を与えました。

* ImPOSSIBLEとは、国際パラリンピック委員会公認教材



優秀賞

- 松戸向陽高等学校 介護のしごと魅力発信事業への参加や、高齢化社会の地域課題解決方法を探るゲーム型の学び「コミュニティ・コーピング」実習など、本県唯一の福祉教養科の充実に努めている。
- 千葉中学校 本県初の県立中学校である同校は、「ゼミ」による異学年間研究活動、発表会、卒業論文、卒業発表会や個人研究の発表会、千葉大学医学部や新聞社と連携した授業などさまざまな取り組みを評価。
- 長生特別支援学校 各種津波避難訓練のほか、地域の方々と釣ヶ崎海岸清掃活動や地引網体験、サーフィン体験、和太鼓演奏、さらには一宮町のパラリンピック聖火リレー採火式を本校で実施するなど大会の盛り上げに貢献。
- 大網高等学校 猛暑の中、PTAや地域の方などを含む延べ450人で東金線高架下の大壁画をリニューアル。駅前草花植栽やゴミ拾い、農産物や加工品の販売など、地域に愛される高校づくりへの取り組みを評価。
- 銚子高等学校 文部科学大臣表彰や内閣府主催の防災教育チャレンジプランに採択された「防災の学び」のほか、ジオパークツアーや課題研究全校発表会、オランダ大使館員出前授業など多彩な活動を評価。

各（応募）校の応募資料は教育庁ホームページに掲載しています。ぜひご覧ください。
<https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/seisaku/miryoku/koukou/miryoku-r03.html>

お問い合わせ先：各顕彰校および企画管理部教育政策課 電話043（223）4019

インデックス&ミニ・トピックス

インデックス（目次）をクリックすると対象のページへジャンプします。

インデックス(目次)	頁
決定！ 令和3年度魅力ある県立学校づくり大賞	1
インデックス&ミニ・トピックス	2
教育委員会会議報告	3
活躍が期待されるジュニア選手	4
第44回全日本中学生水の作文コンクール	5
県立学校開放講座	6
イベント情報	別冊

千葉盲学校幼児児童生徒が JR 四街道駅で「駅体験」-改札体験・乗降体験・電車内の触察体験-（令和3年12月15日）

県立千葉盲学校の幼児児童生徒が、駅や電車の構造を知り、安全に利用できるよう、JR 四街道駅で、改札体験やホームでの車両乗降体験等を行いました。

この体験は、JR 東日本千葉支社銚子運輸区、佐倉運輸区、JR 四街道駅にご協力いただきました。



詳しくは、こちら↓

<https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/seisaku/kouhou/photo-2021/211215-2.html>

「佐倉の町を和服で登校」～心を込めて製作した和服で登校～（令和3年12月15日）

県立佐倉東高等学校では、和服の正しい着装を目的とした学習の一環で、装飾デザイン科和装コースの生徒たちが製作した和服（小紋・袴・道行コート等）を着て学校生活を送る「和服登校」を実施しました。



詳しくは、こちら↓

<https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/seisaku/kouhou/photo-2021/211215.html>



◎さらに情報をお知りになりたい方、ご意見のある方は、次のアドレスにアクセスしてください。

県教育委員会ウェブサイト：<http://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/index.html>

フォトニュース：<https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/seisaku/kouhou/photo-index.html>

ご意見・ご提案メール：https://www.pref.chiba.lg.jp/form/kyouiku_iken_kyouiku/form.html

<アンケート>

[県教委ウェブサイトを使いやすくするためのアンケートにご協力ください。（ここをクリック）](#)

令和3年度第11回千葉県教育委員会会議（定例会）の内容について

開催日 令和4年1月19日（水） 議案及び報告は以下のとおりです。

＜ 審議事項 ＞

- (議案)
- 第43号議案 千葉県生涯学習審議会条例の一部を改正する等の条例の原案について
 - 第44号議案 千葉県生涯学習審議会委員の任命について
 - 第45号議案 専決処分申し入れについて
 - 第46号議案 千葉県学校職員定数条例の一部を改正する条例の原案について
 - 第47号議案 千葉県総合スポーツセンターの管理等に関する条例の一部を改正する条例の原案について
 - 第48号議案 千葉県教育委員会の職務権限に属する事務の管理及び執行の特例に関する条例について
 - 第49号議案 千葉県職員定数条例の一部を改正する条例について
 - 第50号議案 教育機関設置条例の一部を改正する条例の原案について
 - 第51号議案 千葉県総合スポーツセンターの管理等に関する条例の一部を改正する条例の原案について
 - 第52号議案 千葉県総合スポーツセンター射撃場の管理等に関する条例の一部を改正する条例の原案について
 - 第53号議案 千葉県総合スポーツセンター東総運動場の管理等に関する条例の一部を改正する条例の原案について
 - 第54号議案 千葉県国際総合水泳場の管理等に関する条例の一部を改正する条例の原案について
 - 第55号議案 千葉県立房総のむらの管理等に関する条例の一部を改正する条例の原案について
 - 第56号議案 千葉県スポーツ推進審議会条例を廃止する条例の原案について
- (報告議案)
- 第12号報告 市町村立中学校長の人事について
- (報告)
- 報告 1 令和3年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について

[お問い合わせ先：043-223-4004 千葉県教育庁企画管理部教育総務課]
 ホームページ <http://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/soumu/press/2022/040119-2.html> (第11回結果)

◆ ◆ ◆ ◆ ◆ 教育委員の活動（1月） ◆ ◆ ◆ ◆ ◆

委員視察 ～学校を核とした1000か所ミニ集会～

さまざまな見地から意見が出された運営協議会

令和4年1月7日（金）、県立浦安高等学校で「学校を核とした1000か所ミニ集会」が行われ、井出教育長職務代理者と貞廣委員が視察を行いました。コミュニティ・スクール（学校運営協議会）が導入されている同校では、地域と学校とが目標やビジョンを共有し、一体となって子供たちを育てていく、地域とともにある学校づくりが展開されていました。

次年度からコミュニティ・スクールを導入する県立学校が複数校あり、同校での取り組みは大変参考になりました。



←挨拶をする
井出教育長
職務代理者



学校運営協議
会を視察する
貞廣委員 →

2022活躍が期待される少年・少女「チームちば」の紹介

栃木県・秋田県を舞台にした「第77回 国民体育大会 冬季大会」がスタートしました。ひたむきに努力する「チームちば」の若き選手たちを紹介します。

フィギュアスケート



都道府県別成績 6位

入賞を果たした少年男子

右：周藤 ^{すとう} 集 ^{つどい} 選手

(千葉市立加曽利中学校 3年)

左：北村 ^{きたむら} 凌 ^{りょうた} 大選手

(わせがく高等学校 3年)

「いちご一会とちぎ国体」スケート競技会（フィギュア）が、1月24日（月）から27日（木）まで霜降アイスアリーナ（日光市）で開催されました。強豪チームがひしめく中、千葉県チーム少年男子は見事6位入賞を果たしました。入賞こそ逃したものの、少年女子も第12位と健闘しました。

※いちご一会とちぎ国体公式 Web サイト：<https://www.tochigikokutai2022.jp/>

スキー



チーバくん



ジャイアントスラローム

国体スキー競技千葉県選考会

(群馬県鹿沢スノーエリア)

すぎた ^{すぎた} なつね ^{なつね}
杉田 夏音 選手

(千葉商科大学附属高等学校2年)

「美の国あきた鹿角国体」スキー競技会は、「伝えよう感動 繋げよう絆」をスローガンに、2月17日（木）から鹿角市で開催されます。「雪なし県」である本県は、ここ数年、スキー競技での国体入賞は果たしていませんが、ジャイアントスラローム、クロスカンントリーでは、中・高校生が夏場の陸上練習や冬場の強化合宿等を重ねて力を付けています。中でも杉田 夏音選手（千葉商科大学附属高等学校2年）は、昨年度の第33回全国高等学校選抜スキー大会アルペン競技男子スラロームに参加しており、今後の活躍が楽しみな選手です。

スキー競技に千葉県から出場する中・高校生はジャイアントスラローム6名、クロスカンントリー7名、計13名の予定です。入賞目指してがんばれ！ チームちば！

※美の国あきた鹿角国体公式 Web サイト：<https://common3.pref.akita.lg.jp/skikokutai/>

お問い合わせ先：千葉県教育庁教育振興部体育課競技スポーツ班
電話：043-223-4104

第44回 全日本中学生 水の作文コンクール

8月1日は「水の日」、8月1日から7日までは「水の週間」です。
千葉県では、「水についての考え」や「水の使い方」について中学生から作文を募集します。

- * **テーマ** 『水について考える』（個別の題名は自由）
- * **応募資格** 令和4年度に県内在住・在学の中学生
- * **原稿** 400字詰原稿用紙4枚以内。
本文の前（原稿用紙枠内）に、
①題名、②学校名（ふりがな）、③令和4年度の学年、④氏名（ふりがな）
を明記して下記まで郵送
- * **募集期間** 令和4年3月1日（火）～ 5月9日（月）必着
- * **送付先** 〒260-8667 千葉市中央区市場町1番1号（住所省略可）
千葉県 総合企画部 水政課 水資源・水利班
- * **賞** 千葉県地方審査会表彰（予定）
最優秀賞 1編
優秀賞 2編
奨励賞 2編
学校賞 若干校
参加賞 応募者全員

※上位に入賞した作文は、本県の優秀作文として国土交通省で行われる中央審査会へ推薦します。

※学校として作文に取り組み、ご応募いただいた中から、「学校賞」を表彰しています。
“作文”や“水に関する授業”の課題等としてぜひ取り組んでみてください。

- * **入賞発表** 6月中旬頃に所属する中学校を通じて入賞者へ通知します。
- * **表彰** 入賞者は「水の週間」期間中に実施予定の「千葉県地方審査会表彰式」において賞状等を授与します（日時及び開催場所は未定）。

※詳しくは千葉県水政課ホームページをご覧ください。

過去の内容や水に関する学習の資料に利用できる「水のはなし」なども掲載しています。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/suisei/sakubun/index.html>

水の作文コンクール 千葉県

検索

- 【主催】内閣官房水循環政策本部、国土交通省、千葉県
- 【後援】文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、環境省、
水の週間実行委員会、（独）水資源機構、全日本中学校長会

お問い合わせ先

総合企画部水政課水資源・水利班 電話：043-223-2688

地域とともに
豊かな学びを！

県立学校開放講座

県立学校開放講座は、県民の皆さまに、生活に必要な知識や技能の習得や、心豊かに生きるための教養を身につけていただくため、「身近で利用しやすい生涯学習の場」として、それぞれの県立学校が持つ優れた教育機能や施設を積極的に地域へ開放するものです。

◆ ～親子で体験ものづくり～ ◆ 県立湖北特別支援学校

普段、生徒たちが作業学習として取り組んでいる「ミニチェア制作」と「エコバッグの染物」に近隣の小学生が親子でチャレンジしました。はじめは緊張していた参加者からは、「ボルトを締めるのが大変だったけど楽しかった」「先生の教え方が上手かった」「大切に使います」「来年も違うものを作りたい」など、世界に一つだけの素敵な作品に笑顔があふれていました。



◆ DNAを身近に感じてみよう！ ◆ 県立船橋古和釜高等学校

船橋古和釜高等学校（生徒 683 名）は、昭和 55 年に創立され、創立 42 年を迎えた学校です。「自立・協力」を教育理念として、社会で活躍できる人材の育成を目指しています。本年度、地域連携アクティブスクールとして 7 年目を迎えました。

本講座では、DNAを抽出し、DNA模型とDNAビーズストラップを作成しました。受講生からは、「DNAについてわかった」「簡単にわかるように教えてくれた」などの声が聞かれ好評でした。



学校開放講座に関する Web ページ：

<https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/shougaku/renkei/kaihoukouza.html>

【お問い合わせ先】生涯学習課学校・家庭・地域連携室 電話043-223-4069

県教委ニュース イベント情報

さわやかちば県民プラザ
県立図書館
青少年自然の家

さわやかちば県民プラザ・県立図書館・県立青少年施設では、新型コロナウイルス感染拡大の状況により、急きょ利用時間、イベント内容などの変更をすることがあります。お出掛けの際は、各施設のホームページなどでご確認ください。

「ちばりすネット」で、みんなの学びを応援します！

さわやかちば県民プラザでは、県内の講座イベント情報などの生涯学習に関する情報をインターネットを通じて提供する「ちばりすネット」を運用しています。

以下の講座やイベント以外にも、たくさんの情報が詰まっています。地域や日時、内容などで**絞り込んで検索**することもできますので、ぜひご活用ください。右記QRコードからアクセスできます。



▼県立中央図書館

NO.1

[〒260-8660 千葉市中央区市場町 11-1] 電話 043-222-0116 <https://www.library.pref.chiba.lg.jp/>

◆おはなし会

絵本を読んだり、おはなし（ストーリーテリング）をしたりします。
保護者の方から離れて、一人でおはなしがきける5歳から小学生のお子さんが参加できます。

日 時：毎週土曜日 午後2時～午後2時30分

場 所：県立中央図書館 児童資料室

参加費：無料

対 象：5歳くらいから小学生まで

定 員：3人程度（人数を超えた場合は時間をずらして実施します）

ホームページのURL：

https://www.library.pref.chiba.lg.jp/information/central/post_396.html

◆親子で楽しむえほんの会

3、4歳のお子さんと保護者の方が参加できる会です。
親子で絵本や言葉に親しんでみませんか。

日 時：毎月第2金曜日午後3時～午後3時30分

※この時間帯以外でも、児童資料室開室時間中に親子さん等から希望があれば、可能な限りいつでも「えほんの会」を行います。どうぞお気軽にご来館ください。

場 所：県立中央図書館 児童資料室

参加費：無料

対 象：3、4歳の子供と保護者の方

定 員：親子3組（人数を超えた場合は時間をずらして実施します）

ホームページのURL：

https://www.library.pref.chiba.lg.jp/information/central/post_396.html

▼県立水郷小見川青少年自然の家

NO.2

[〒289-0313 香取市小見川 5249-1] 電話 0478-82-1343 <http://suigou-omigawa.com/>

◆やさしいカヌー基礎編⑦

カヌーの基礎を施設内のミニハーバーで学びます。

日 時：令和4年3月21日（月・祝）午後1時15分～午後3時

場 所：県立水郷小見川青少年自然の家

参加費：300円

対 象：3歳以上

定 員：40人（申込先着順）

申 込：令和4年2月22日（火）午後1時から電話により申し込み

締 切：令和4年3月13日（日） ※定員になり次第締切

申し込み・問い合わせ先：県立水郷小見川青少年自然の家

◆スターウォッチング③

望遠鏡を使って、月と季節の星々の観察をします。

日 時：令和4年3月12日（土）午後4時～午後8時

場 所：県立水郷小見川青少年自然の家

参加費：高校生以上600円、小中学生400円、未就学児200円、2歳以下無料

対 象：どなたでも参加できます。

定 員：80人（申込先着順）

申 込：開館日午前9時から電話により申し込み受付中

締切：令和4年3月5日（土） ※定員になり次第締切

申し込み・問い合わせ先：県立水郷小見川青少年自然の家

◆プラネタリウム一般公開⑩

南の国の星座について解説します。

日時：令和4年3月21日（月・祝）午前10時～午前11時

場所：県立水郷小見川青少年自然の家

参加費：無料

対象：どなたでも参加できます

定員：60人（申込先着順）

申込：令和4年2月22日（火）午前9時から電話により申し込み

締切：令和4年3月13日（日） ※定員になり次第締切

申し込み・問い合わせ先：県立水郷小見川青少年自然の家

▼県立鴨川青少年自然の家

NO.3

[〒299-2862 鴨川市太海 122-1] 電話 04-7093-1666 <http://www.echiba-sports.org/kamo/wp/>

◆里山サイクリングを体験しよう！

普段あまり利用しない e バイク（自転車）に乗って、鴨川の里山を散走する楽しさを体感。風を感じながら景色を楽しみ、鴨川を再発見。

日時：令和4年3月6日（日）午前9時～午後0時30分

場所：鴨川市総合運動施設文化体育館出発～鴨川市内散走 ※出発地現地集合・解散

参加費：2,300円（飲食代、eバイクレンタル代、保険代）

対象：中学生以上どなたでも

定員：10人（申込先着順）

申込：開館日午前9時から電話により申し込み受付中

締切：令和4年2月24日（木）ただし、定員になり次第締切

申し込み・問い合わせ先：県立鴨川青少年自然の家

◆カヤック大冒険～みずうみ編～

陽春の亀山湖の桜を愛でながら、カヤックツーリング。広大な湖に覆いかぶさる 木々と水面に突き出た立ち木をカヤックを上手にコントロールしながら、探検する楽しさを体験します。

日時：令和4年3月21日（月・祝）午前10時30分～午後3時

場所：君津亀山湖（鴨川青少年自然の家集合）

参加費：600円（カヤック代、保険料）

対象：小学生以上の親子

定員：20人（申込先着順）

申込：令和4年2月21日（月）午前9時から電話により申し込み

締切：令和4年3月11日（金）ただし、定員になり次第締切

申し込み・問い合わせ先：県立鴨川青少年自然の家

▼県立君津亀山青少年自然の家

NO.4

[〒292-0526 君津市笹字片倉 1661-1] 電話 0439-39-2628 <http://www.kimikame.net/>

◆ファミリー野遊び教室⑨～ピクニックウォーキング～

房総の早春は色とりどり♪春の恵みを感じながらピクニック感覚でウォーキング。
自然観察も行います。

日時：令和4年3月20日（日）午前9時～午後0時30時

場所：県立君津亀山青少年自然の家

参加費：1,500円/人（保険料、消耗品費、教材費他）

対象：小学生以上の子どもとその保護者

定員：20人（申込先着順）

申込：2月19日（土）午前9時から電話により申し込み

締切：定員になり次第締切

申し込み・問い合わせ先：県立君津亀山青少年自然の家

県立美術館・県立博物館では、新型コロナウイルス感染拡大の状況や荒天により急きょ利用時間等の変更をすることがあります。お出掛けの際は、各館のホームページなどでご確認ください。

NO.5

▼県立美術館

[〒260-0024 千葉市中央区中央港 1-10-1] 電話 043-242-8311 <http://www2.chiba-muse.or.jp/ART/>

◆「山本大貴-Dignity of Realism-」

写実絵画の新時代を担う旗手として注目を集める千葉県出身の若手画家、山本大貴の展覧会。写実主義を追求して描かれた山本の人物画は、睫毛の1本、指先の動きひとつまでがまるで生きているかのような独特の質感を持っています。さらに、若手作家ならではのポップカルチャー的表現と、油絵の古典技法の融合も見どころの一つです。

◆ 第5期コレクション展

「房総に生きた書家 -浅見錦龍生誕 100年-」

浅見錦龍（1922～2015）は、千葉県の書道文化発展に尽力した書道家です。また、日本最大の公募展「日展（日本美術展覧会）」や毎日書道展などで作品を発表したことでも知られます。県立美術館では、錦龍が主宰した書星会の協力をいただき、彼の業績を紹介します。



Standing Figure (feat. IKEUCHI Hiroto)、2020年、個人蔵

名品5 ー肖像画を中心にー

当館収蔵作品の中から、肖像画を中心に紹介します。

会 期：開催中～3月21日（月・祝）

開 館：午前9時～午後4時30分

入場料：一般300円、高校・大学生150円

※中学生以下、65歳以上の方、障害者手帳等をお持ちの方およびその介護者1人は無料

休館日：月曜日、3月1日（火）臨時休館



肖像画より クールベ《眠る人》

◆ 「手のひらの芸術ーアートメダルの世界ー」

アートメダルとは、近年国際的に注目が集まる表現様式の一つです。メダルという語から一般的に想起される金属の円盤にとどまらず、手のひらサイズであれば木やガラスを用いたり、レリーフやブローチの形にしたりと自由な工作ができることから、「手のひらの芸術」とも呼ばれています。

県立美術館では、筑波大学性が中心となってアートメダルを研究している団体、TAMP（つくばアートメダルプロジェクト）の作品展を行います。今回のキーワードは「グローバル」や「エデュケーショナル」。海を越えて集まった各国の作品や、学校生徒の作品をぜひご覧ください。

会 期：令和4年2月22日（火）～3月21日（月・祝）

開 館：午前9時～午後4時30分

入場料：無料

休館日：月曜日、3月1日（火）臨時休館



視覚特別支援学校児童生徒の作品

[〒260-8682 千葉市中央区青葉町 955-2] 電話 043-265-3111 <http://www.chiba-muse.or.jp/NATURAL/>

◆①春の展示「苔松苔梅—春を寿ぐ うめのきごけ—」

中央博物館では、新春の縁起物として古くから日本文化の中で親しまれてきた、苔松苔梅に着目した展示を開催しています。苔が付いた松や梅の木は、長寿を記念して日本画や振袖などに描かれてきました。さらに今回は、生物学的に見た苔類の特性や生態についても解説します。



苔むす松



苔むす梅

◆②ミニトピックス展「いちほらしてんじんたいいせき市原市天神台遺跡展～縄文人と海との関わりのはじまり～」

中央博物館では、縄文時代の海洋文化を象徴する遺跡の1つとして知られる市原市の「天神台遺跡」を取り上げた展示を行います。この展示では、令和3年に文化庁主催の「発掘された日本列島」展に出展された出土品を中心に、貝を加工した装身具や土製の耳飾りなどを紹介します。



縄文時代早期の貝製アクセサリー

会 期：①春の展示「苔松苔梅」開催中～5月8日（日）

②「市原市天神台遺跡展」開催中～3月13日（日）

開 館：午前10時～午後4時30分（入館は午後4時まで）

入場料：一般300円、高校・大学生150円

※中学生以下、65歳以上の方、障害者手帳等をお持ちの方およびその介護者1人は無料

休館日：月曜日、4月26日（火）臨時休館

◆生態園トピックス展「カエル」

中央博物館に併設されている自然観察エリア、生態園でのトピックス展示です。今回のテーマは「カエル」。生態園にも生息する種類から千葉県では見られない種類まで、たくさんの個性的なカエルが大集合します。

会 期：令和4年3月1日（火）～5月15日（日）の土・日・祝日

会 場：県立中央博物館 生態園オリエンテーションハウス

開 館：午前10時～午後4時30分（入館は午後4時まで）

入場料：無料 ※本館を見学の際は、別途入場料が必要です。

休業日：平日

◆千葉県立博物館文化セミナー「千葉学講座」

自然誌や美術などさまざまなテーマについて、博物館の研究員が講演を行います。房総の海鳥や干鰯産業の歴史、千葉県ゆかりの芸術家など、幅広い分野の講座をご用意しています。県民の皆さまに、郷土の自然や文化への関心を深めていただくとともに、県立博物館・美術館の調査・研究活動の一端を知っていただければ幸いです。

講演1 房総半島の多様な海鳥

講 師：中央博物館 平田和彦 研究員

講演2 千葉県における地衣類相調査

講 師：中央博物館 坂田歩美 研究員

講演3 干鰯の歴史と房総の繁栄

講 師：関宿城博物館 榎美香 主任上席研究員

講演4 漆芸家、佐治賢使の作品におけるデザインと技法について

講 師：県立美術館 相川順子 上席研究員

講演5 千葉県の土壌動物

講 師：中央博物館 萩野康則 自然誌・歴史研究部長

日 時：令和4年3月6日（日）午後1時～午後4時

会 場：県立中央博物館講堂、オンライン同時配信

対 象：どなたでも参加できます

定 員：県立中央博物館講堂70人、
オンライン同時配信100人

参加費：無料

申 込：以下(1)～(4)のいずれか

(1)Web (2)往復はがき(3)FAX(4)県立美術館・各博物館窓口にて

(1)Web：<http://www2.chiba-muse.or.jp/www/contents/1642581002671/index.html>

(2)(3)：氏名、連絡先、参加人数を記入の上、下記あてに送付

往復はがき：〒260-8682 千葉市中央区青葉町 955-2 千葉県立中央博物館企画調整課

FAX：043-266-2481

締 切：2月24日（木）まで

定員を超えた場合は抽選、定員に達しない場合は追加募集を行います。



(講演1) 海鳥の一種
オオセグロカモメ



(講演4) 佐治賢使《朝陽来》
株式会社高會堂 六本木蔵

[〒299-5242 勝浦市吉尾 123] 電話 0470-76-1133 <http://www.chiba-muse.or.jp/UMIHAKU/>

◆マリンサイエンスギャラリー「千葉県エビ・カニ大集合！」

海の博物館に千葉県近海のエビやカニが大集合！房総の海の幸として有名なイセエビや外房の深海で獲れた大きなカニ、イソギンチャクやヒトデと共に暮らす小さなエビなど、貴重な標本や剥製が勢ぞろい。千葉県の自然豊かな海が育んだエビやカニの多彩な顔ぶれをぜひご覧ください！

会 期：令和4年2月26日（土）～5月8日（日）

開 館：午前9時～午後4時30分（入館は午後4時まで）

入場料：一般200円、高校・大学生100円

※中学生以下、65歳以上の方、障害者手帳等をお持ちの方およびその介護者1人は無料

休館日：月曜日 ※月曜日が休日の場合は開館

◆講座「勝浦の甲殻類」

これまでに勝浦の川と海から収集された甲殻類について紹介します。

日 時：令和4年3月12日（土）午後1時30分～午後2時30分

対 象：中学生以上

定 員：8人

参加費：なし

申 込：参加希望者全員について以下の内容を明記のうえ、海の博物館あてにハガキ・FAX・電子メールのいずれかでお申し込みください。

記入事項）1氏名 2住所 3電話番号 4年齢 5ご希望の行事名および開催日時

締 切：2月26日（土）まで



ハマガニ



アカホシカクレエビ

▼県立現代産業科学館

[〒272-0015 市川市鬼高 1-1-3]047-379-2000 <http://www2.chiba-muse.or.jp/SCIENCE/>

◆サイエンスドームギャラリーミニ展示「鉄道を支える人々」

日本の鉄道は、今からちょうど150年前の明治5（1872）年に新橋～横浜間で開業し、社会を支える大切な公共交通機関として発展してきました。さまざまな分野の人々が携わり、安全な運行を支える鉄道業務。今回は車両整備に焦点をあて、鉄道を支える人々の仕事の一端と、鉄道の魅力を紹介します。

会 期：開催中～3月13日（日）

開 館：午前9時～午後3時30分（入館は午後3時まで）

入場料：無料（常設展見学希望の方は別途入場券が必要）

休館日：毎週月曜日、3月1日（火）



新京成電鉄車両整備風景



小湊鐵道車両整備風景

▼県立関宿城博物館

NO.9

[〒270-0201 野田市関宿三軒家 143-4]04-7196-1400 <http://www2.chiba-muse.or.jp/SEKIYADO/>

◆昔のくらし展

昔なつかしい民俗資料を中心に、「住まう」「食べる」「着る」「働く」「遊ぶ」の五つのテーマに沿って、昭和の頃の暮らしを紹介します。

会 期：開催中～4月17日（日）

開 館：午前9時～午後4時30分（入館は午後4時まで）

入場料：一般200円、高校・大学生100円

※中学生以下・65歳以上の方、障害者手帳等をお持ちの方およびその介護者1人は無料

休館日：月曜日 ※月曜日が休日の場合は開館



昭和のミシン



昔の住まい再現

◆体験教室「関宿城下を歩こう（城下町コース）」

千葉県立関宿城博物館の周辺を歩いて、江戸時代の関宿藩にゆかりのある史跡（関宿城本丸跡、筋違い十字路、外堀・土塁跡、関宿関所跡石碑、随庵堀と随庵碑）や寺院（昌福寺、時間次第で宗英寺）を学芸員が案内し、解説します。

日 時：令和4年3月21日（月・祝）

午前10時～正午

（現地解散）

場 所：【集合場所】県立関宿城博物館 集会室

：【見学場所】県立関宿城博物館周辺の史跡や寺院

定 員：15人

対 象：どなたでも参加できます

参加費：50円

申込み：2月22日（火）午前9時から電話で申し込み（先着順）



「関宿城下を歩こう」の様子

▼千葉県立房総のむら

NO.10

[〒270-1506 印旛郡栄町龍角寺 1028] 電話 0476-95-3333 <http://www2.chiba-muse.or.jp/MURA/>

◆ビックリひなまつり

千葉県立房総のむらでは、多くのご家庭から寄贈いただいた約180体のひな人形を、旧暦桃の節句に合わせて展示しています。ビックリ圧巻の7段飾りにずらりと並ぶ、華やかなひな人形たちをぜひお楽しみください。

会 期：開催中～3月6日（日）

開 館：午前9時～午後4時30分（入館は午後4時まで）

入場料：一般300円、高校・大学生150円

※中学生以下、65才以上の方、障害者手帳等をお持ちの方およびその介護者1人は無料



ビックリひなまつりの様子

体育関連施設の注目イベント情報

▼東総運動場 [旭市]0479-68-1061

<https://www.cue-net.or.jp/kouen/toso/>

ヒルトレックコース利用案内

ヒルトレックコースは、起伏のある草原を走るヒルトレックトレーニングに由来し、約8千㎡の草地の斜面を利用した、1周約1kmの本格的なトレーニングコースです。

心肺機能の向上、筋力アップを目指す全てのアスリートに有効なコースです。

◆日時：通年利用可（ただし、大会等利用時を除きます。）

◆料金：無料

◆申込：利用する場合は、事前に予約をして下さい。

受付期間は、利用日の2ヶ月前の1日から、利用日までで、先着順に申し込みます。

例 4月10日に使いたい場合 ⇒ 2月1日～当日 まで受付可

※利用日の2ヶ月前の1日が休場日の場合は翌日が受付開始日となります。

◆利用内容等について

- ・スパイクの利用は禁止です。ジョギングシューズ等で利用してください。
- ・順路に沿って歩くこと（時計と逆回り）。逆走は禁止です。
- ・運動場施設の利用は、トイレ以外使用できません（更衣室等は使えません）。
- ・陸上用具の貸し出しはできません。

▼東総運動場 [旭市]0479-68-1061

<https://www.cue-net.or.jp/kouen/toso/>

多目的広場・広場等利用案内

多目的広場は、高麗芝：約2千㎡。広場は、高麗芝：約8千㎡でグラウンド・ゴルフ、陸上大会時のアップ場として利用できます。

◆日時：通年利用可

◆料金：無 料

◆申込：占用して利用する場合は、事前に予約をしてください。

受付期間は、利用日の2ヶ月前の1日から、利用日の3日前まで、先着順に申し込みます。

例 4月10日に使いたい場合 ⇒ 2月1日～4月7日まで受付可

※利用日の2ヶ月前の1日が休場日の場合は翌日が受付開始日となります。

◆注意事項：球技は禁止です。ボールが広場の外へ出る可能性のある競技（グラウンド・ゴルフ、ゲートボール等は除く）には利用できません。

※サッカー大会時のアップ場としての利用の場合に限りサッカー利用は可能です。

ただし、ボールが外へ出る可能性のある練習はできません。

スパイクでの利用は芝生保護のため禁止です。アップシューズ等で利用してください。

運動場施設の利用は、トイレ以外使用できません。（更衣室等は使えません。）

陸上用具の貸出しはできません。

天候、芝生の状況により利用を制限する場合があります。